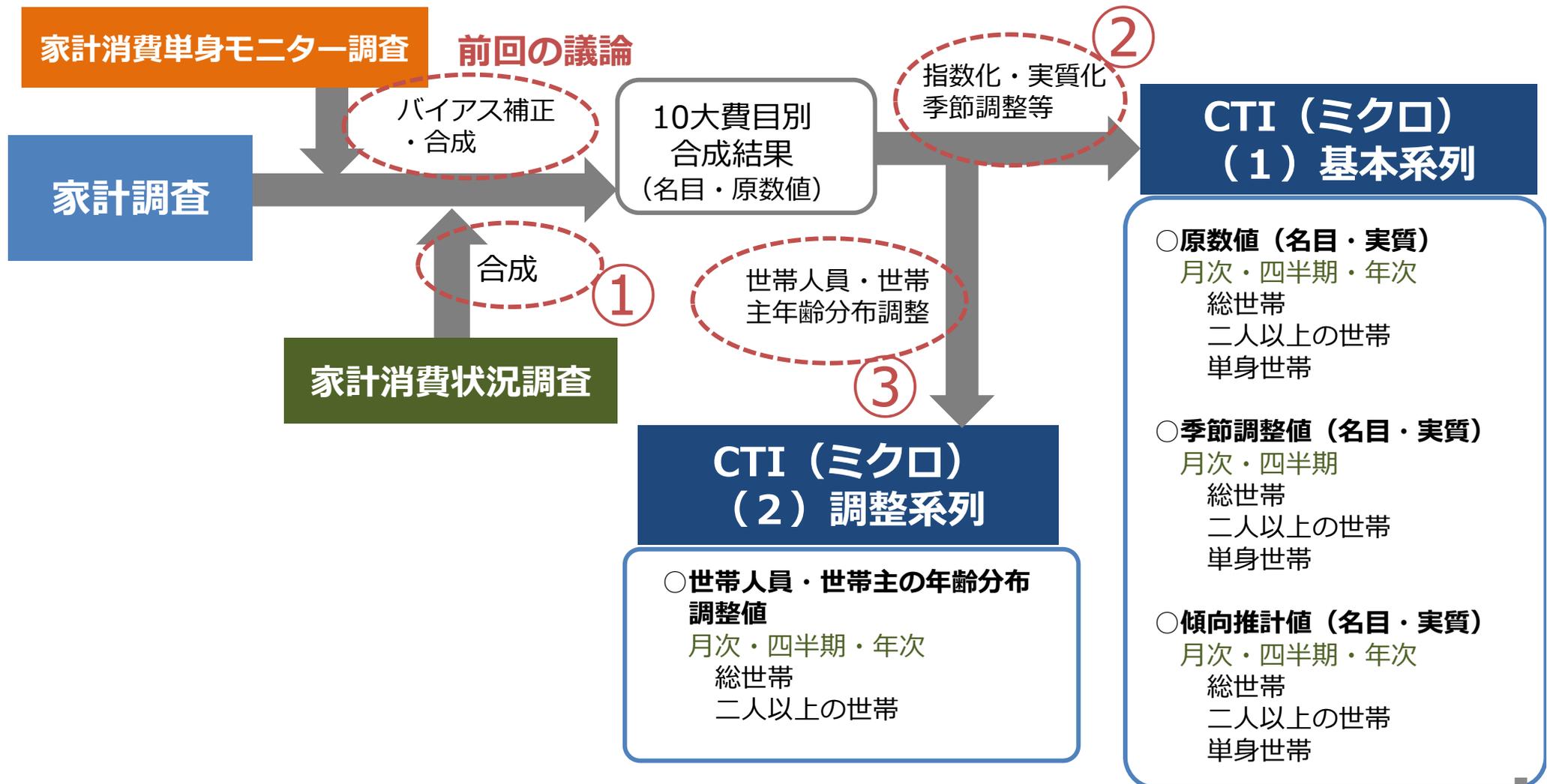


# 消費動向指数（CTI）ミクロ動向指数の 推定方法について

平成29年11月21日  
総務省統計局

# 家計調査、家計消費状況調査、単身モニター調査の合成

CTI（ミクロ）は下図の手順で作成。公表系列は10大費目別（名目・実質、それぞれ原数値・季節調整値）、これに加えて世帯人員・世帯主年齢分布調整済み系列（旧消費水準指数）を一体的に作成



# ①家計調査（家計消費単身モニター調査）と家計消費状況調査の合成

○家計消費状況調査対象品目の合成方法について

$$X_{n,m} = \frac{Y_{n,m} \times N_y + Z_{n,m} \times N_z}{N_y + N_z}$$

$X_{n,m}$  : ある品目のn年m月の合成金額（1世帯当たり平均）

$Y_{n,m}$  : ある品目のn年m月の家計調査結果※における支出金額（1世帯当たり平均）

※ 単身世帯の場合は、家計調査と家計消費モニター調査の合成結果

$Z_{n,m}$  : ある品目のn年m月の家計消費状況調査結果における支出金額（1世帯当たり平均）

$N_y, N_z$  : 家計調査（家計消費単身モニター調査を含む）と家計消費状況調査を加重平均するためのサンプルサイズ比

	$N_y$	$N_z$
	家計調査 + 家計消費単身モニター調査	家計消費状況調査
二人以上の世帯	80	200
単身世帯	$7+24^{\ast}=31$	20
総世帯	$80+31=111$	$200+20=220$

注)  $N_y, N_z$ は集計世帯数の概数を100で除した数

※2017年1月～7月の試験調査期間は集計世帯が約1300世帯のため「13」を用いる。

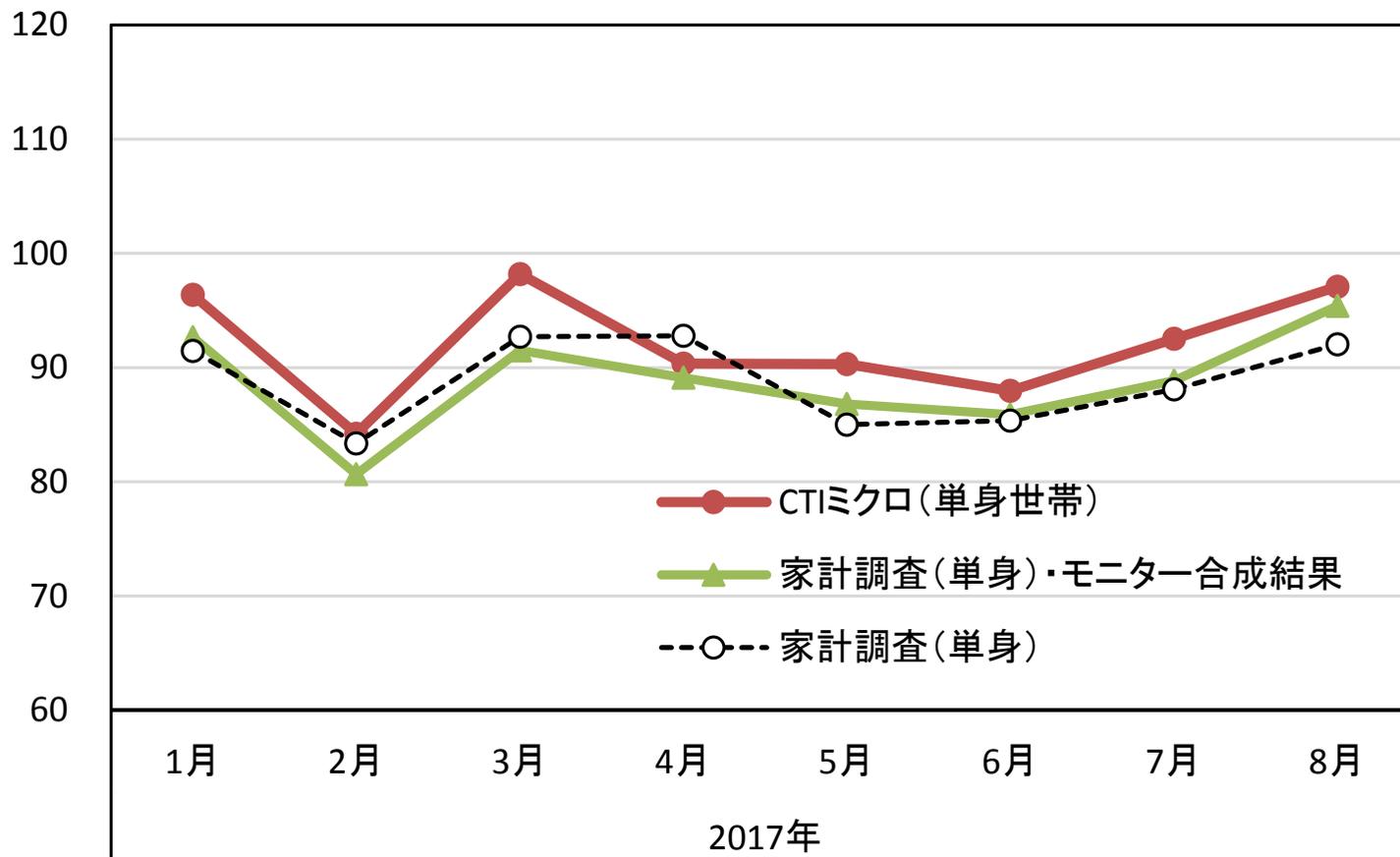
- ・ 現行の家計消費指数は、家計調査と家計消費状況調査の支出金額レベルの水準調整を行った上で合成を行っている。これは家計消費状況調査では回答世帯の判断により記入を行っているため、品目の概念に家計調査との一定のずれが存在するため。
- ・ 家計消費状況調査も調査開始から10年以上が経過し、精度・安定性が向上した現在では、得られているデータソースをそのままサンプルサイズ比で加重平均することが望ましいと考える。

# CTI（ミクロ）単身世帯の試算結果

単身世帯の消費動向は、これまでは家計調査、家計消費指数では四半期・年次の動向しか見ることができなかったが、家計調査に家計消費単身モニター調査、消費状況調査の3調査を合成することで、月次の動向を安定的に見ることが可能。

(2015年=100)

図 CTI（ミクロ）単身世帯の試算結果



注1) 指数の基準となる金額は、家計調査と家計消費状況調査の2015年平均結果を用いてCTIの合成方法と同じ方法で合成した基準年金額。基準年金額は3系列とも同じ。

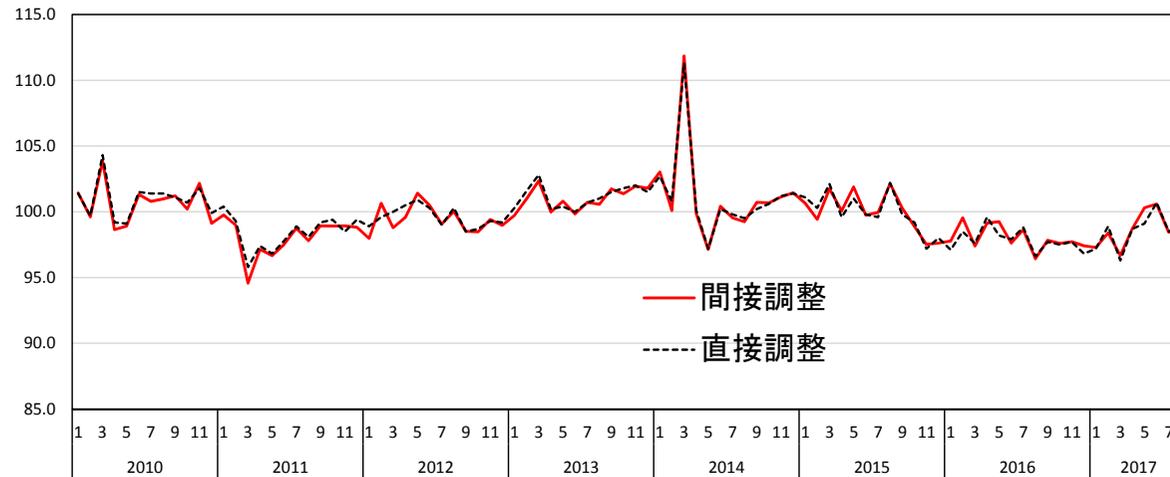
注2) 家計調査(単身)は「家計調査」の調査票情報を独自集計した月次結果(試算値)

## ②CTI（ミクロ）における季節調整値（1）

CTI（ミクロ）においては、10大費目別に季節調整を行い、その合計により消費支出計の季節調整値を算出する（間接調整）。

図 CTIミクロ（二人以上の世帯）季節調整値（月次・名目指数）－直接調整と間接調整の比較（試算値）

(2015年=100)



### 直接調整

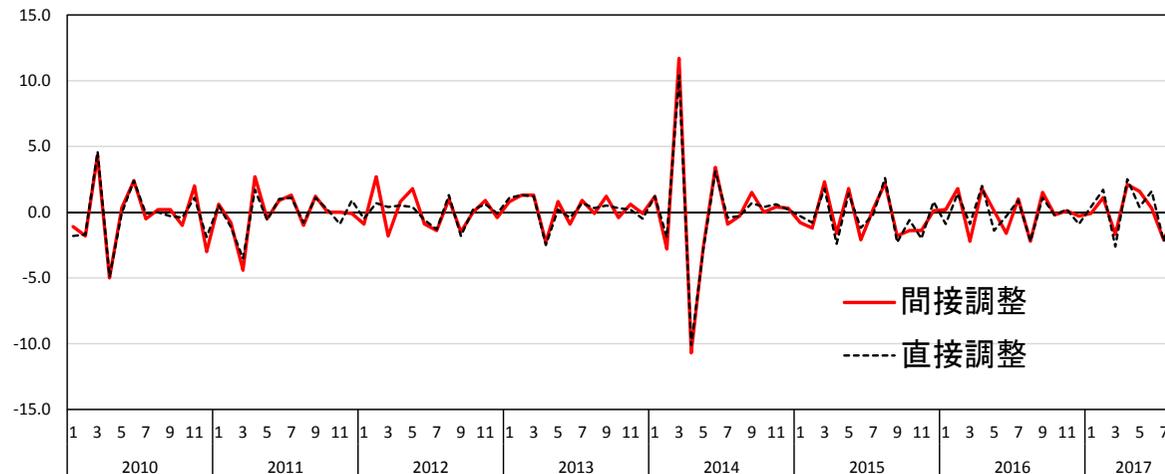
消費支出計に直接季節調整をかける方法

### 間接調整

10大費目別に季節調整を行い、その合計により消費支出計の季節調整値を算出する方法

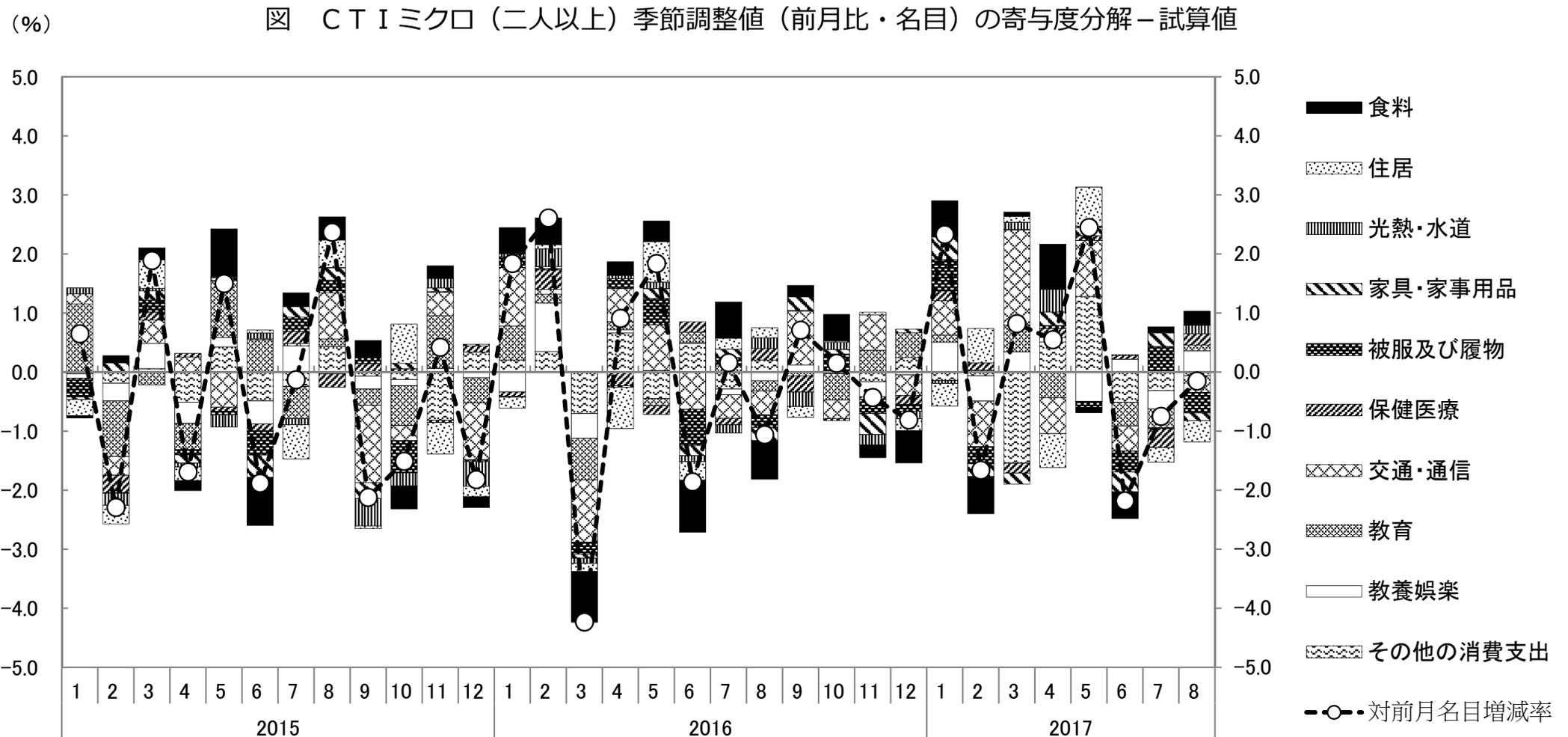
図 CTIミクロ（二人以上の世帯）季節調整値（月次・名目・前月比）－直接調整と間接調整の比較（試算値）

(%)



## ②CTI（ミクロ）における季節調整値（２）

CTI（ミクロ）では間接調整法による季節調整を行うため、季節調整値の前月（期）比の費目別要因分解が可能となる。



# ③世帯人員・世帯主の年齢分布調整値の作成方法について

家計調査+家計消費单身モニター調査  
世帯人員×世帯主年齢階級別結果

	单身	2人	3人	4人	5人以上
35歳未満					
35～44					
45～54					
55～64					
65～74					
75歳以上					

家計消費状況調査  
世帯人員×世帯主年齢階級別結果

	单身	2人	3人	4人	5人以上
35歳未満					
35～44					
45～54					
55～64					
65～74					
75歳以上					

サンプルサイズ比による合成 (注1)

世帯人員・世帯主の年齢別結果 (合成金額)

	单身	2人	3人	4人	5人以上
35歳未満					
35～44					
45～54					
55～64					
65～74					
75歳以上					

世帯人員・世帯主の  
年齢分布調整値

各セルのウェイトを基準年に  
固定して加重平均 (注2)

指数化

CTI (ミクロ)  
(2) 調整系列

注1) サンプルサイズ比は全セル共通の固定値 (P2の $N_{y1}, N_{y2}$ ) を用いる。

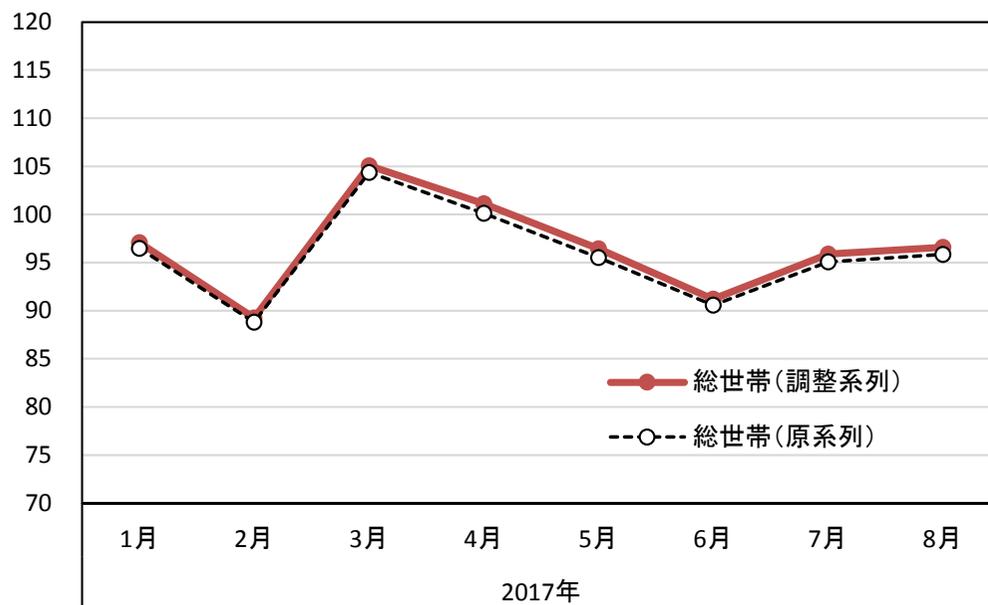
注2) 各セルの基準年ウェイトは家計調査の調整集計世帯数を用いる。

# 世帯人員・世帯主の年齢分布調整値の試算結果

図 CTI (ミクロ) 世帯人員・世帯主の年齢分布調整値 (総世帯) 試算結果

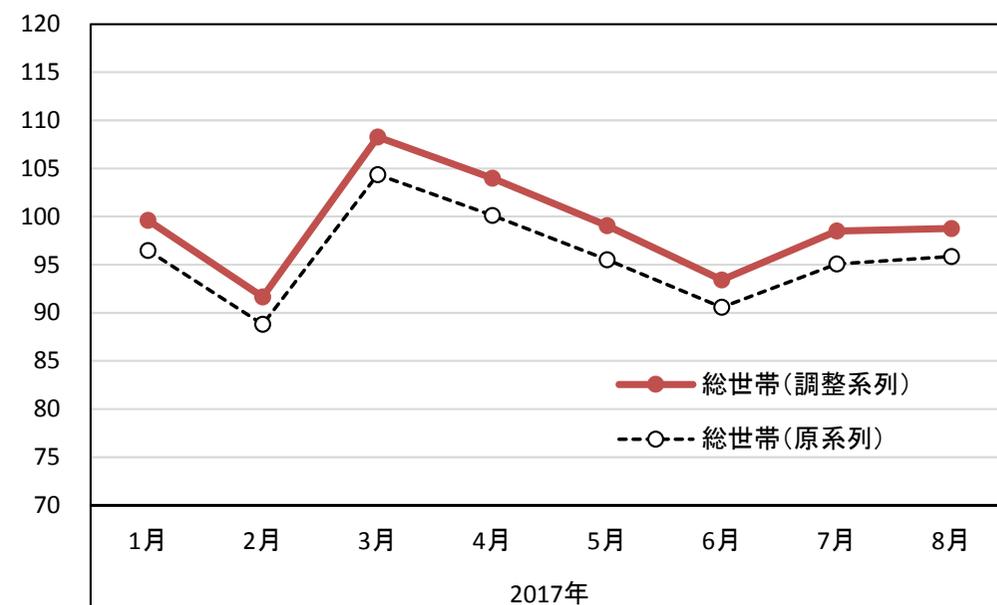
世帯数分布を2015年の分布に固定

(2015年=100)



世帯数分布を2010年の分布に固定

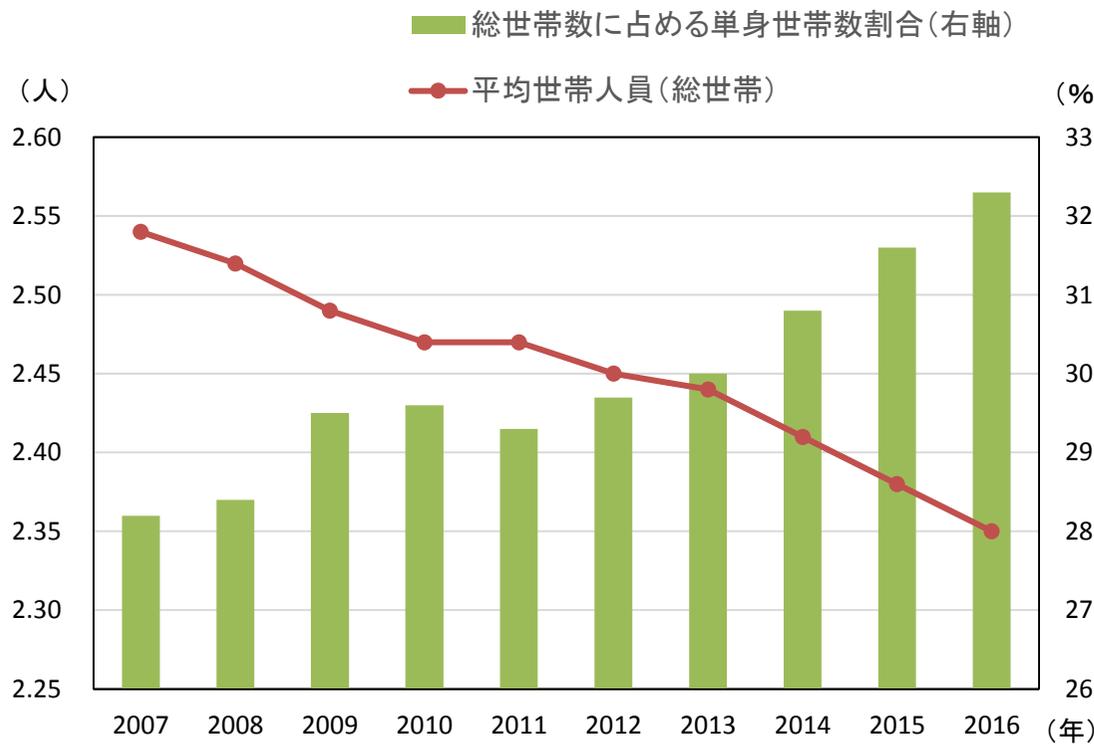
(2015年=100)



# (参考) 世帯人員、世帯主年齢の推移等

## 平均世帯人員の減少・単身世帯の増加

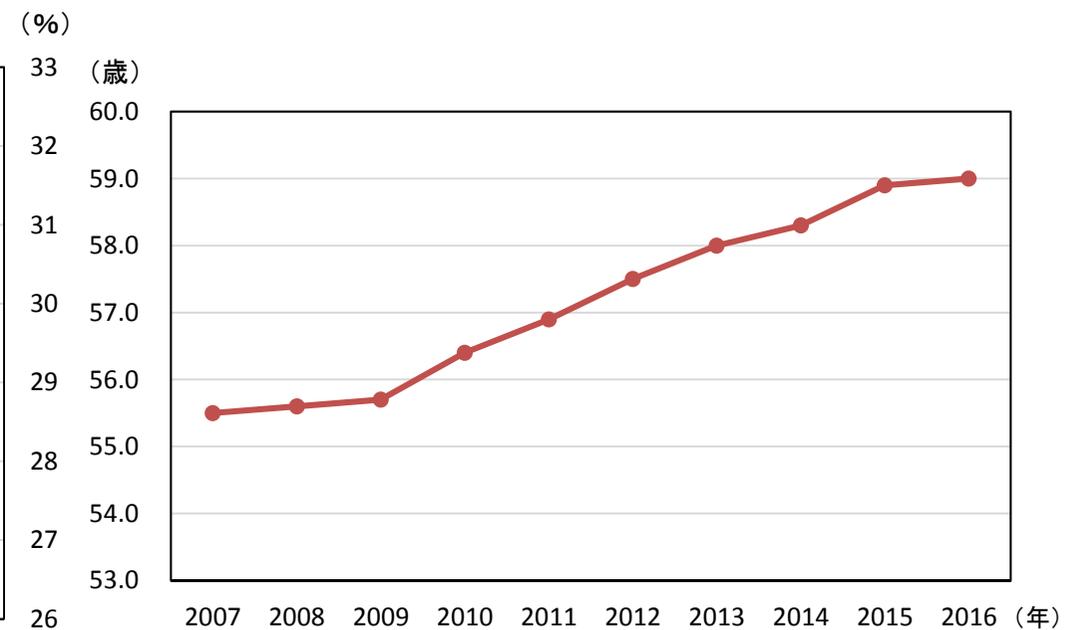
図 平均世帯人員と単身世帯割合の推移



注) 家計調査の年平均結果

## 世帯主の高齢化

図 世帯主年齢の推移 (総世帯)



注) 家計調査の年平均結果